

<<説明会における質疑応答及びご意見>>

【質疑応答】

質 問	回 答
仮設道路工事の工事車両数や作業人数の見込みはどのくらいか。	現時点で具体的な数字は把握できていない。
祝日に工事は行うのか。	祝日は基本的に休工とするが、作業進捗によっては工事を行う場合もある。
公園に関する要望はいつまで受けてもらえるのか。	今年秋ごろまでに設計内容が決定できれば、工事で対応可能と考える。
通常時と大雨時で流れが変わる仕組みを教えてください。	水位上昇で新河岸川に放流できないときに水路の湛水を防ぐため、調整池に流入させるための穴をあける構造を考えている。雨が降らなかつたり、水がたまらなければ流れる方向は通常通りとなる。
前回の説明会との差異・変更点をまず説明するべき。	今後の業務の参考とさせていただく。前回説明会からの差異については、主に以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・今回新たに造成高さを示せるようになり、雨水の流れなどを図示できるようになった。 ・水路構造や道路幅員などを視覚的に分かるよう図示した。 ・工事実施に関する交通規制、車両通行の出入口、環境への配慮等を示した。
5月14日開催の懇談会にて、公園についてどのような意見がでたのか。	主に駐車場やトイレの必要性、北側公園の施設について意見をいただいた。詳細は、別途市のHPに掲載する。
大雨時に調整池の水があふれるとなった場合、地域への呼びかけはどのような方法を検討しているか。	運用面についてはまだ検討段階である。
ららぽーとへ接続する地下道及び体育館脇地下道への冠水等の影響はあるか。	影響はないと考えている。

調整池に設置する柵の仕様、特に安全面への配慮について教えてほしい。	調整池を囲むよう1.8m高のネットフェンスを設置予定である。侵入防止のため、忍び返しのついたフェンスを採用する。
φ300~1200の雨水管の埋設深さはどのくらいか。	おおむね土被り1.0~1.3mを計画している。
緩衝緑地にランニングコースを整備してはどうか。	緩衝緑地は企業の土地となるため難しい。
ららぽーとの貯水量と比較すると、本事業の計画貯水量は少ない。どのような根拠で貯水量を決定したのか。	面積当たりの貯水量が一律で決まっているわけではなく、造成する地形が従前どんな形でどのくらい水を貯めていたのか算出し、雨水条例を加味して貯水量を決めている。
県道三芳富士見線を拡幅すると聞いたが、どのような計画か教えてほしい。	本事業とは別に歩道拡幅を計画している。令和6年度末の団地整備完了までに消防署角の交差点から南畑橋の袂まで整備する予定であり、現在用地交渉を進めている。
雨水の公園貯留について具体的な貯水量を教えてほしい。	南側公園に1,700m ³ 、北側公園に1,900m ³ 、合わせて3,600m ³ 貯留できるよう整備する計画である。